

鹿児島県は離島の人口と面積が全国1位の県です。今回は、28ある有人離島のうち「獅子島」を紹介します。

長島のさらに北、化石と柑橘類の楽園

vol. 1

Shishijima

しましま
島々
もよう

獅子島

県最北端に浮かぶ化石の島

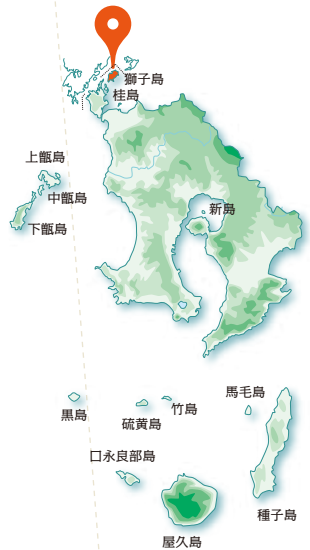
獅子島は天草諸島に属し、鹿児島県北西部に位置する長島町の4つの有人島のうち、唯一、橋で本土と繋がっており、離島振興対策実施地域に指定されています。海上交通は長島町の諸浦港のほか、天草・水俣地域と定期航路で結ばれており、所要時間も20分〜30分程度と海上アクセスは良好です。

白亜紀後期(約1億年前)・晩新世後期(約5500万年)の地層が露出していて、



潮風とともに天草諸島を見渡せる展望所があります。

25°E



化石の島としても知られています。島のあちこちでトリゴニア(三角貝)やヌムリテス(古代の有孔虫)の化石を見ることができ、アンモナイトやエラスモサウルス(首長竜)の化石も見つかっています。フェリーが発着する片側港には首長竜とアンモナイトのミニチュメントも設置されています。

特産品は丘陵地形を生かして栽培される柑橘類。なかでも「紅甘夏」はかごしまブランドに指定されています。また、周辺海域は流れが速く、海水がきれいなことから養殖ブリなどの海の幸も豊富。魚介類のほか、「オサ」と島で呼ばれるアオサも名物となっています。タコ漁の盛んな幣串漁港の蛸壺のある風景も印象的です。

魅力的な観光資源たっぷり

天草の島並みを臨む景色も獅子島の魅力で、「薩摩松島」とも呼ばれており、県最北端の絶景、

島々メモ

いたるところで化石を発見！
古代ロマンの島



獅子島は国内有数の化石の産出地として知られています。片側港周辺・幣串漁港周辺・七郎山・東側の海岸線(湯ノ口〜柏栗)など、あちこちで化石の観察が可能です。片側港の首長竜のミニチュメントは全長6.6m(実物大を想定)と巨大なものです。

化石、特産品といった豊富な観光資源が特徴です。近年は、鹿児島中央駅や熊本県からの日帰りバスツアーもあり、化石発掘を体験できるコースも用意されています。また、毎年2月には長島町主催の「獅子島ウォーク」も開催。片側港から七郎山まで往復約13キロメートルを歩くというもので、人気イベントとして定着しています。

- 【位置】北緯32度18分/東経130度15分(長島の北約4km)
- 【面積】17.05km² 【周囲】約36.5km
- 【人口】757人 ※平成22年国勢調査より
- 【地形】丘陵地形で周囲はリアス式海岸、最高峰は標高393mの七郎山
- 【主な産業】水産業(ブリ、タイ、タコ、アオサなど)、農業(柑橘類、ジャガイモなど)
- 【島名由来】旧領主の獅子谷七郎に由来するとも、島津氏が鹿の牧場を置いたことから「鹿島」が転じたものともいわれている。
- 【アクセス】諸浦港(長島町)、中田港(熊本県天草市)とフェリーで連絡 ※車両運搬可
水俣港(熊本県水俣市)より旅客船運行 ※旅客のみ

お問い合わせ先:長島町役場 ☎0996(86)1111